

令和4年度 第1回学校評価アンケート集計結果

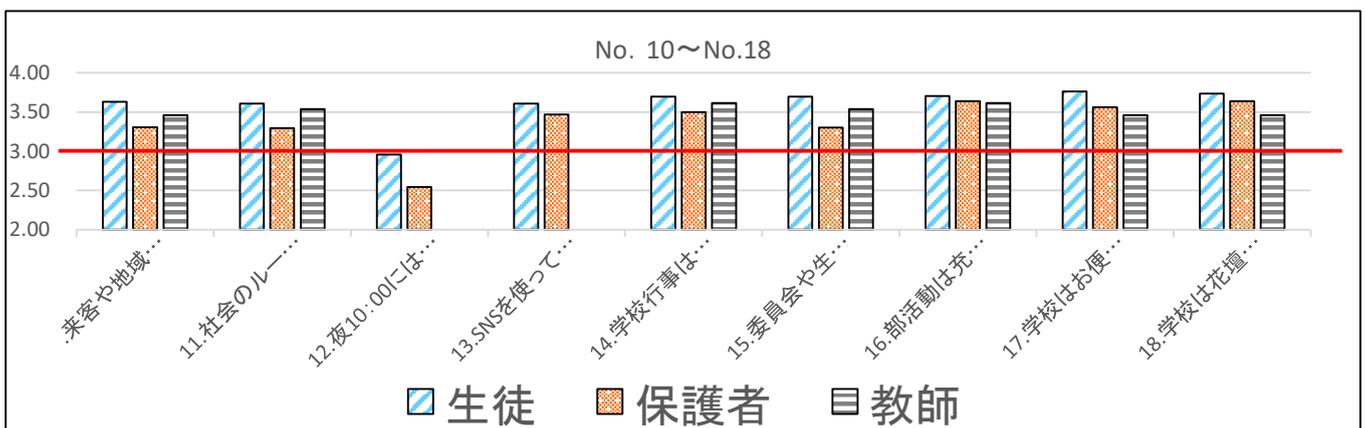
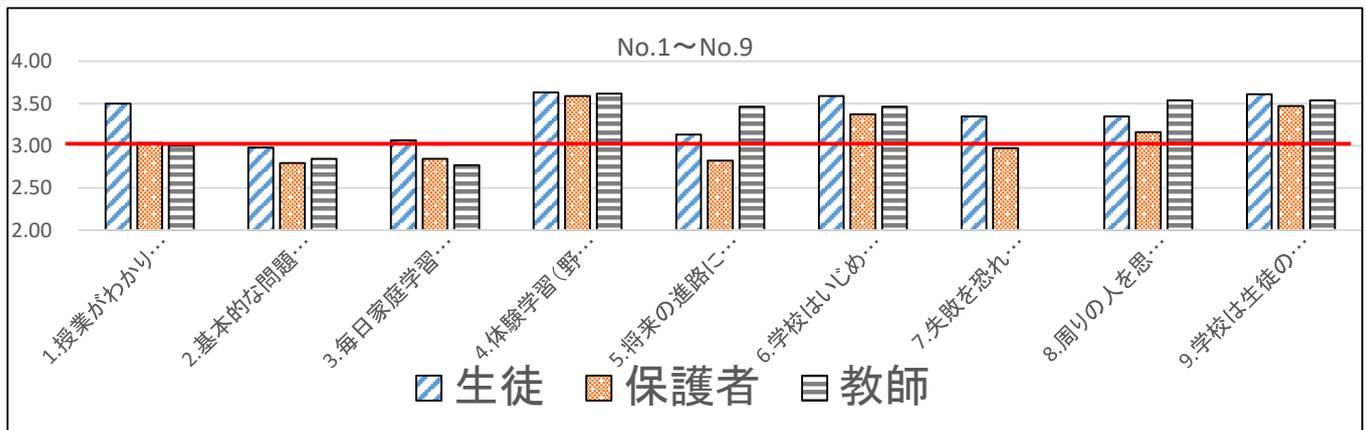
(令和4年7月実施 令和4年 9月発行)

◆数値は各項目について4段階評価した平均点。

(4：よくあてはまる 3：ほぼあてはまる 2：あまりあてはまらない 1：全くあてはまらない ?：よくわからない)

◆平均点が「3」を超えていたら、概ね満足と評価できる。

	No.	評価項目	生徒	保護者	教師	平均	昨年度平均値
学習面	1	授業がわかりやすい。	3.50	3.03	3.00	3.18	3.35
	2	基本的な問題を解く力(学力)が身についている。	2.98	2.79	2.85	2.87	2.91
	3	毎日家庭学習に取り組んでいる。	3.07	2.84	2.77	2.89	2.92
	4	体験学習(野付学)を通して、故郷を大切にできる気持が育っている。	3.63	3.59	3.62	3.61	3.60
	5	将来の進路について考えている。	3.13	2.82	3.46	3.14	3.26
生活面	6	学校はいじめもなく、楽しく生活できる。	3.59	3.37	3.46	3.47	3.34
	7	失敗を恐れず、挑戦しようとしている。	3.35	2.97	/	3.16	3.11
	8	周りの人を思いやる行動をとっている。	3.35	3.16	3.54	3.35	3.31
	9	学校は生徒の悩み事に適切に対応している。	3.61	3.47	3.54	3.54	3.48
	10	来客や地域の人にきちんと挨拶ができる。	3.63	3.31	3.46	3.47	3.47
	11	社会のルールや学校のルールを守って生活している。	3.61	3.29	3.54	3.48	3.44
	12	夜10:00にはスマホを親に返すか、居間に置くようにしている。	2.96	2.54	/	2.75	2.77
	13	SNSを使って人を馬鹿にしたり、傷つけるようなことはしていない。	3.61	3.47	/	3.54	3.60
その他	14	学校行事は楽しく、充実した活動になっている。	3.70	3.50	3.62	3.60	3.63
	15	委員会や生徒会活動に積極的に参加している。	3.70	3.30	3.54	3.51	3.53
	16	部活動は充実した活動になっている。(部活加入者回答)	3.70	3.64	3.62	3.65	3.68
	17	学校は便利やブログなどで、学校や生徒の様子を紹介している。	3.76	3.56	3.46	3.59	3.66
	18	学校は花壇整備や清掃活動等の校内外の環境整備に気をつけている。	3.73	3.64	3.46	3.61	3.68
	19	自分にはよいところがある。	3.34	/	/	3.34	2.93



【アンケート記述内容と回答】

＜保護者記述内容＞

- ①すごく楽しそうに中学校に通っています。先生方皆さまのおかげですありがとうございます。
- ②毎日元気に登校できている事を嬉しく思います。学級通信や学校だよりを楽しみに読ませてもらっています。
- ③食物アレルギーの件では大変お世話になっております。変化があった時などすぐにご連絡を頂き手厚い配慮に感謝し安心しています。今後もご迷惑をかける事があると思いますがよろしくお願ひ致します。
- ④宿泊研修前に、クラスで物がなくなったという事があったと聞いてますが、それは度々あることですか？
- ⑤制服(夏服)についてですが、男子は寒暖差のある場合には半袖か長袖と使い分けが可能ですが、女子は長袖タイプのみなので、暑い時に脱ぐ訳にはいかず対応出来ない、子供が話しておりました。今年はさほど暑い日はありませんが、近年北海道も蒸し暑い気候になりつつあります。教室には冷房もないため、制服時の暑さ調節をご検討頂けたらと思います。例えば、女子も白いシャツ着用可能にするなど、生徒達にヒアリング等取って何が過ごしやすいか考えて、自分たちで決めてみてはと思います。
- ⑥3年生になり自分で進路について真剣に考え行動するなど自発的に行動出来るようになったと感じます。これも先生方のおかげだと感謝しています。子供の学校生活が充実していると感じる事ができありがとうございます。
- ⑦マスクの着用について
- ⑧かばんの重さについて

＜本校としての回答＞

- ④宿泊研修のレクの実施に必要なメモが紛失したという報告は受けていますが、校内において物品が紛失することは今のところございません。引き続き、生徒の持ち物についても自己管理をしっかりするよう指導し、学校備品の管理も徹底していきます。
- ⑤制服のあり方については、生徒・保護者の考え方、地域の状況、社会の常識、時代の進展などを踏まえながら今年度中に見直しをかけ、変更していく方向性で現在検討しています。
- ⑦マスクの着用については、文科省と厚生労働省から出されているガイドラインの通りとします。屋外にいるときや屋内での会話がない場面(他者と2mの間隔)では、マスクを外してもよいこととしております。また、気温や湿度が高い場合にはマスクを外すよう積極的に呼びかけています。
- ⑧教科書の大型化に伴うかばんの重さについて、本校でも実際に生徒のかばんの重さを測ったところ、ほとんどの生徒は適正な結果でした。しかし10kgを超える生徒が数名おり、時間割を調べずに全教科持っている例や不要なものを入れっぱなしにしている例もありました。本校ではこの結果を受け、教科ごとにロッカー保管を許可するものについて再検討し、分かりやすく教室掲示するなど、かばんの中身を軽くする工夫を各自でとるよう指導しました。

【三者の比較からの考察と改善策】

「4 ふるさと学習」、「9 悩み事の対応」、「13 SNS指導」、「14 学校行事」、「16 部活動」、「17 情報発信」、「18 環境整備」については三者ともに高評価となっています。学校と家庭が連携を更に強め、今後も継続した指導を展開していきます。一方、「2 基礎学力」、「3 家庭学習」、「12 スイッチオフ22」については昨年度に続いて3.0を下回る結果となっています。「2 基礎学力」と「3 家庭学習」については、授業の工夫改善の推進を組織的に図り、生徒の意欲を高め、主体的に学びたいような授業づくりを目指していくことが本校としての早急な課題です。

「12 スイッチオフ22」については、引き続き呼びかけていきますが、家庭での指導が不可欠です。学習目的以外で1日1時間以上スマートメディアを使用する子どもは、使用しない子どもに比べ、学力が低いというデータが出ています。また学習後の短い動画鑑賞が学習記憶に影響することも実証されています。

「19 自己肯定感」については昨年度の数値を大きく上回っています。今後も子どもたちが成功体験や達成感を得られるような場面を設定し、子どもの良さを教師も子ども同士も称え、認め合える学校づくりに邁進していきます。

＜改善策＞

【学習面】

- ①基本的な問題を解く力を身につけるためのサポート
 - ・各種学力調査の結果を活かした授業改善(苦手分野の把握と対策)を推進する。
 - ・小テストの再テストや課題提出のサポートなど、個に応じた指導を継続していく。
 - ・ICT(一人一台のタブレット)を活用した個に応じた指導の充実及び、自学で活用できるような環境整備を図る。
 - ・「基本的な問題を解く力が身につけている」かどうかについて、生徒・保護者と情報を共有し、共通認識をもつ。
- ⇒各教科で授業評価の結果や最低限自身に付けさせたい基本的な知識・技能と資質・能力などを具体的に提示する。
- ・自己評価が低い子を対象に学習に対する自己肯定感を向上させる取り組みを実践していく。
- ②自主的な継続的な家庭学習の定着にむけて
 - ・授業のまとめ・振り返りの時間を活用し、家庭学習でやりたいこと、やるべきこと、やり方を自分で考え、計画的に取り組めるよう継続的に指導する。
 - ・自学ノート紹介コーナーの取組を継続し、頑張りを認め合い、他者のよい取組から学び合うことで家庭学習の質の向上に役立てる。また、生徒への紹介の仕方や掲示方法の工夫をする。
 - ・家庭でも学びたいような学習課題の工夫と授業づくりを推進する。
 - ・生徒の家庭学習への取組について、保護者に学級通信や学校便り、ブログなどで発信していく。
- ③中学校3カ年を見通したキャリア教育と進路指導の充実を図る。
 - ・具体的な方策(二・三者面談、進路資料、職場体験)の価値を高める。
 - ・キャリアパスポートで保護者・生徒・教師(地域)とのやり取りを充実させる。

【生活面】

- スイッチオフ22の取組やSNS利用指導などメディアコントロールに関する取組
 - ・学級活動や道徳を活用し、自分の生活を振り返り改善しようという気持ちを高める。スマートメディアの使い方やルールなどを考える機会を多く与える。
 - ・スクールライフを通じて実態を伝えるとともに、翌月の達成目標を設定し、生徒・保護者への啓発を継続していく。
 - ・達成できていない生徒については定期的に声掛けと個人面談等を実施し、スマートメディア利用について、生徒が主体的に抑制する力を身に付けさせていく。